



2018年10月30日

各 位

会社名 シャープ株式会社
代表者名 取締役会長兼社長 戴正呉
(コード番号 6753)

2019年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2018年4月26日に公表いたしました2019年3月期通期連結業績予想の修正につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

2019年3月期通期連結業績予想の修正 (2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,890,000	110,000	100,000	80,000	122.26
今回修正予想(B)	2,690,000	112,000	101,000	90,000	138.66
増減額(B-A)	△200,000	2,000	1,000	10,000	
増減率(%)	△6.9	1.8	1.0	12.5	
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	2,427,271	90,125	89,320	70,225	106.07

※当社は、2017年10月1日付で、普通株式及びC種種類株式についていずれも10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。1株当たり当期純利益については、前期及び当期ともに当該株式併合の影響を考慮しております。

2. 修正の理由

第2四半期連結累計期間の実績と足もとの状況を踏まえ、2019年3月期通期連結業績予想を修正いたします。

売上高については、第3四半期以降は、前回予想をほぼ据え置いておりますが、「量から質へ」の転換による高付加価値化に加えて、ローカルニーズを確実に捉えた商品展開によるASEANをはじめとするグローバルでの事業拡大、さらには、東芝クライアントソリューション株式会社の子会社化などもあることから、第2四半期連結累計実績に比べて、大きく伸長する見込みです。

営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益については、体質改善効果もあり、前回予想を上回る見通しです。

※ 本資料における業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績などは様々な要因により大きく異なることがあります。実際の業績などに影響を与える可能性のある重要な要因には、以下の事項がありますが、これらに限定されるものではありません。

- ・ 当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢の著しい変化
- ・ 製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化
- ・ 為替相場の変動（特に、米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替相場）
- ・ 諸外国における貿易規制などの各種規制
- ・ 他社との提携、アライアンスの進捗状況
- ・ 当社グループに対する訴訟その他法的手続き
- ・ 製品やサービスについての急速な技術革新 など

以 上